

事例 6

～水力発電の導入促進のための事業補助金を活用した事例～ 既設砂防堰堤を利用した小水力発電事業

■事業及び発電設備の概要

人口減少時代における地域の自立及び二酸化炭素削減に向け、八甲田山系の豊富な水資源を基に、再生可能エネルギー（小水力発電事業）による収益事業を立ち上げることを目指し、砂防堰堤を利用した小水力発電事業に取り組むこととした。

中野川の砂防堰堤2か所（上流側・下流側）を発電所設置予定地として、補助金の申請を行い、調査を進めた。

<事業地域への貢献策>

- ・建設及び維持管理に係る地元雇用の創出
- ・発電施設による固定資産税収入の増加
- ・見学者による飲食・宿泊等の増加

<発電設備の概要>

設置場所	上流側予定地	下流側予定地
発電形式	水路式	水路式
使用水量	0.99m ³ /s	0.81m ³ /s
有効落差	6.00m	8.93m
出力	26kW	50kW

■事業実施上の課題

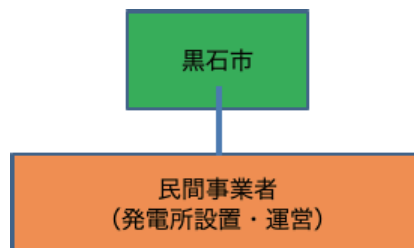
砂防堰堤において小水力発電を導入することは、全国的にも事例が少なく、先例を参考として検討を進めることが難しいという課題があった。

発電所設置予定地の周辺に魚道があり、魚道の機能を維持したうえで、発電事業を行う必要がある。



上流側（魚道）

■事業の実施体制



下流側（堰堤）

■利用した施策と内容

平成29年度から令和元年度にかけて、NEF「水力発電の導入促進のための事業補助金（水力発電事業性評価等支援事業）」を利用して、事業性評価の実施、事業者公募のための資料作成を行い、事業者の公募を実施した。

■施策を利用したことによる事業の成果

資源エネルギー庁の補助金を利用することにより、砂防堰堤における小水力発電の導入という、参考となる先例が少ない案件についての効果的な助言が得られ、参考となった。

また、市の財政的にも補助金により（補助率10/10）、負担を抑える効果が大きかった。

上記の補助金の効果により、困難な事業への足がかりができたと考えている。

■問い合わせ先

黒石市 企画財政部 企画課 企画調整係

住所：青森県黒石市大字市ノ町 11-1

URL：<http://www.city.kuroishi.aomori.jp/>